

水稻用殺虫殺菌剤

ビルダ"リティア[®]
箱粒剤

新た
な
殺虫殺菌の
幕開け。



育苗箱施用、移植時側条施用でいもち病・害虫を防除！

新規殺虫成分(フルピリミン)と、信頼と実績の殺菌剤(プロベナゾール)を配合。

いもち病・ウンカ類を始め、ツマグロヨコバイ、イネミズゾウムシなどに安定した高い効果を示します。



水稻用殺虫殺菌剤

ビルダーリディア[®] 箱粒剤

有効成分：フルビリミン…2.0% プロペナゾール…10.0%
人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指す通称）

1 ビルダーがいもち病に対して高い防除効果を発揮!!

殺菌成分のプロペナゾールは植物体の防御機構を活性化し、いもち病に対して高い防除効果を示します。

2 リディアが、既存剤に感受性が低下した害虫種にも効果を発揮!!

殺虫成分のフルビリミンは昆虫の神経伝達系に作用し、麻痺を引き起こして殺虫効果を発揮します。

3 ミツバチを始めとする、有用昆虫などに影響が小さい!!

ミツバチのほか、ウツキコモリグモ、ヤゴ等への影響はほとんどありません。

■ 適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルビリミンを含む農薬の総使用回数	プロペナゾールを含む農薬の総使用回数
稻 (箱育苗)	いもち病、イネミズゾウムシ ウンカ類、ツマグロヨコバイ	育苗箱 (30×60×3cm、) （使用土壤約5ℓ） 1箱当たり50g	移植7日前～ 移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	3回以内※1	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)
	白葉枯病、もみ枯細菌病 イナゴ類		移植3日前～ 移植当日				
	いもち病、イネミズゾウムシ ウンカ類、ツマグロヨコバイ 白葉枯病、もみ枯細菌病 イナゴ類	高密度には種する場合は1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、) （使用土壤約5ℓ） 1箱当たり50～100g	移植7日前～ 移植当日				
稻	いもち病、イネミズゾウムシ ウンカ類、ツマグロヨコバイ	1kg / 10a	移植時		側条施用	3回以内※2	

※1：移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内

※2：直播での場合は種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内

■ 試験成績

● いもち病

品種：キヌヒカリ
播種日：5月10日
移植日：6月6日
処理方法：育苗箱施用
処理日：5月30日（移植7日前）
発生状況：葉いもち：中発生（接種）
調査日：8月7日（移植62日後）
調査方法：3区30株について
上位3葉の株あたり
病斑数を調査。



● イネミズゾウムシ

品種：あきたこまち
播種日：4月18日
移植日：5月18日
処理方法：育苗箱処理
処理日：5月11日（移植7日前）
発生状況：中発生
調査日：7月2日～5日
（移植45～48日後）
調査方法：各区3か所3株の根部の
幼虫数・土蘿数を調査。



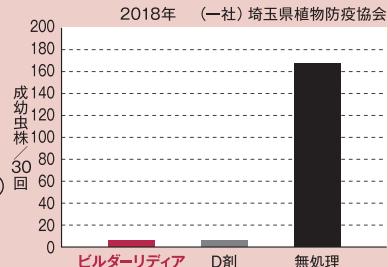
● トビイロウンカ

品種：ヒノヒカリ
播種日：6月4日
移植日：6月19日
処理方法：育苗箱処理
処理日：6月12日（移植7日前）
発生状況：多発生
調査日：8月20日（移植62日後）
調査方法：2区20株について
払落し法により成幼虫数を
調査。



● ヒメトビウンカ

品種：彩のかがやき
播種日：5月12日
移植日：5月30日
処理方法：育苗箱処理
処理日：5月30日（移植当日）
発生状況：中発生
調査日：6月29日（移植30日後）
調査方法：各区3か所ずくい取り
10回振りを行い、
成幼虫数を調査。



ビルダーリディア箱粒剤は各病害虫に対し、高い防除効果が認められた。

● 使用前にラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。● 使用後の空袋は畠場や用水路などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。● 防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ/ご注文は